新潟大学附属長岡中学校　　令和４年４月28日

附中だより　第１号

教育目標「知性と品位をもち、社会を興す人となろう」

新任職員２名を迎え、令和４年度の附属長岡中学校の教育活動がスタートしました。４月には入学式や素心会の組織固めが行われました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、素心会総会等は書面審議での対応となり、部活動保護者会長会のみをオンラインで開催しました。保護者会長の皆様からは生徒の安全、安心をしっかりと考えていただき、今後の活動が充実したものになるようご意見をたくさんいただきました。クラブ活動で生徒の活動を見守っていただける保護者の皆様、お忙しい中時間を作っていただき本当にありがとうございます。熱中症や感染症に注意しながらの活動をどうぞよろしくお願いいたします。

今年度の入学式は昨年度同様、在校生が教室でオンライン参加する中、新入生と保護者それぞれ１名が体育館で参加しました。120 人の新入生を迎え、全校 356 人で今年度がスタートしました。入学式では中島虹星さんが、堂々と入学の決意を発表してくれました。松本校長の入学式での「式辞」を紹介します。

校園の桜の蕾も膨らみはじめ、暖かな風が春の訪れを感じさせてくれる今日の良き日、１２０名の新入生のみなさんを迎えることができ、たいへんうれしく思います。新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。

本日の入学式にあたりご来賓として、新潟大学附属学校部統括長　笠井直美様、素心会会長　荒川太郎様、附属幼稚園長　丸山悦子様、附属長岡小学校長　山崎勝之様からお出でいただいております。誠にありがとうございます。

新型コロナウイルスに関しましては、現在も注意が必要な状況が継続していることから、残念ながら在校生はオンラインで参列し、大変申し訳ありませんでしたが、保護者の皆様の人数を制限させていただくなど、多くの制限がある中での特別な形の入学式となりました。

そのような中でも、先ほどの新入生の皆さん一人一人が、緊張しながらも、しっかりと返事をして立ち上がる姿から、これから始まる新たな生活への大きな希望と意欲を感じることができ、とても頼もしく思いました。

さて、附属長岡中学校の教育目標は、「知性と品位をもち、社会を興す人になろう」です。

「知性と品位をもつ」ということは、一人一人の心がけと努力が大切になってきます。附属長岡中学校の生徒であるという誇りをもってこれから取り組んでいきましょう。そして「社会を興す」については、一人では社会にはなりません。自分だけではなく、人と人とのつながりがあって、社会が成り立っています。それでは、多くの人とつながり、協力し合っていくためにはどうしたらいいでしょうか。そのためには、やさしい言葉遣いや思いやりのある行動、そして感謝の気持ちを持つことが大切だと思います。やさしい言葉をかけられると温かい気持ちになります。また、感謝の気持ちを伝えられるとうれしくなります。これからの中学校生活では、思いやりの心をもち、周りの人の支えに感謝することを心がけていって欲しいと思います。そして、一緒に入学した１２０人の仲間と２年生、３年生の先輩を加えた３５６人みんなで、お互いを思いやり、協力しながら高めあえる最高のチームとしての附属長岡中学校にしていきましょう。

保護者の皆さま、お子様のご入学、誠におめでとうございます。お子様の健やかな成長を支えるために教職員一同力を合わせ全力で取り組んでまいります。また、本校は新潟大学の附属中学校として大学からの支援をいただきながら、教育実習を中心とした教員養成と教育実践研究を進める責務も担っております。さらに、地域への貢献として、公立学校の教職員研修へのお手伝いも積極的に行っております。このようなことから、様々な面で保護者の皆様から学校の取組へのご理解とご協力をいただくことが出て参ると思いますが、ぜひともご支援をお願いいたします。

最後に、新入生の皆さんが１２０人のつながりを大切にしながら、附属長岡中学校での充実した中学校生活を築いていってくれることを期待して式辞といたします。

令和四年四月七日

新潟大学附属長岡中学校長　松本　浩嗣

職名	氏名	教科	学年等	部活動	職名	氏名	教科	学年等	部活動
校長	松本　浩嗣	技術			教諭	小黒 成寛	国語	研究主任 2学年副任	バレー(主)
教頭	藤島　圭	理科			教諭	柴野　浩輔	数学	301担任	剣道(主)
主幹教諭	山本 伸寿	理科	教務主任	科学(副) 吹奏楽(副)	教諭	池田 義広	美術	302担任	美術(主)
指導教諭	山際　貢	理科	3学年主任	科学(主)	教諭	野口　裕太	英語	303担任	野球(副) テニス男(副)
教諭	伊藤 裕也	体育	1学年主任	剣道(副) バスケ(副)	教諭	伊藤 裕	国語	生徒指導主事 3学年副任	テニス女(主)
教諭	下條 浩史	社会	101担任	野球(主)	養護教諭	松澤 佳加	健康教育	保健主事	吹奏楽(副) 美術(副)
教諭	白井　康智	数学	102担任	バスケ(主)	講師	岩崎 真	国語	2学年副任	
教諭	吉村 智宏	音楽	103担任	吹奏楽(主)	講師	相澤 紅	英語	3学年副任	
教諭	佐藤 正秀	英語	2学年主任	テニス男(主)	講師	土田　浩慈	理科	1学年副任	
教諭	廣瀬　有美	家庭	201担任	サッカー(副) テニス女(副)	講師	青柳　隆広	数学	3学年副任	
教諭	恩田 隆介	社会	202担任	サッカー(主)	講師	津端　勇樹	体育	1学年副任	
教諭	中村　浩士	技術	203担任	バレー(副) バスケ(副)	講師	矢坂 恵里香	書写		

ＳＮＳ講演会を実施しました。

４月 26 日（火）長岡市の教育委員で一般財団法人インターネット協会の大久保真紀様を講師に招きＳＮＳ講演会を実施しました。オンラインを活用し、生徒と保護者に対してお話していただきました。後半の保護者対象の講話では、ご自身が母親という立場で苦労されていることなども紹介され、母親目線で様々なアドバイスをいただきました。今後ｱｰｶｲﾌﾞ配信の案内を出しますので、是非ご覧いただきたいと思います。以下に、保護者の皆様の感想を紹介させていただきます。

○とてもためになった。親子で同じ話を聞くことで意味があると感じた。なかなか親が言っても素直に聞けない年頃なため、第三者の方、専門家の方に詳しくお話を聞けたので子どもの心にも響いていると思った。

○ネットの影の部分を中心に子どもに接していましたが、先生のお話を聞いて、ネットに触れる事自体が悪ではなく、使う人の自制心が有れば素晴らしいものになるのだと感じました。自分自身の使い方も振り返りたいと思います。

○自身もインターネットを使用しているにも関わらず、陰ばかり目を向けがちでしたので、視点を変えて子供にも自分自身にも向き合いたいと思いました。

○スマホを持たせるにあたり、約束事や制限を本人と話して決めました。「あなたのものではなく、親から貸し出しているもの」まさにそうだなと思いました。

○周りの友人がスマホや携帯を持ち始める中で、どのタイミングで我が子にも持たせるか思案している中での講演会だったので大変有意義でした。保護者としてはどうしても SNS いじめ等影の部分に目が向きがちでした。今回の講演を通し、SNS とのつきあい方を再考させられました。また、全校生徒で同内容を視聴することに意義があったと思います。保護者の参加者が少なかったように感じたので、沢山の方に視聴頂きたい内容だと思いました。

新潟大学部附属長岡中学校　　〒940-8530　長岡市学校町１－１－１
Tel　0258-32-4190　Fax　0258-32-6340
Email　kobai@nagaoka.ed.niigata-u.ac.jp　ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ　http://www.nagaoka.ed.jp/